

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきざいだんほうじん せんだいふいるはもにーかんげんがくだん					
	制作団体名	公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団					
	代表者職・氏名	理事長 増子 次郎		団体ウェブサイトURL			
				https://www.sendaiphil.jp/			
	制作団体所在地	〒	980-0012	最寄駅(バス停)	仙台市地下鉄 南北線 「勾当台公園」駅		
		宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3番9号					
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です					
	ふりがな	せんだいふいるはもにーかんげんがくだん					
	公演団体名	仙台フィルハーモニー管弦楽団					
	代表者職・氏名	理事長 増子 次郎		団体ウェブサイトURL			
				https://www.sendaiphil.jp/			
	公演団体所在地	〒	980-0012	最寄駅(バス停)	仙台市地下鉄 南北線 「勾当台公園」駅		
		宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3番9号					
	制作団体 設立年月	平成22年9月					
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等			
		[理事] 20名 [評議員] 17名 [監事] 2名 [事務局職員] 21名		[団体構成員] 62名 [加入条件]採用オーディションによる			
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名		事業部 公演企画・制作 主事 伊東 広大		
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者		総務部 主事 小林 千明		
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号		
		ito-k@sendaiphil.jp			0222253934		

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>仙台フィルは、1973年に市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。翌年に初の定期演奏会を開催し本格的に活動を開始した。1983年4月から芥川也 寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ、飯守泰次郎常任指揮者らのもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2023年度に高関健が常任指揮者に、太田弦が指揮者に就任。さらに音楽的深化を推し進めている。2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届ける活動を行い、2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞、渡邊曉雄音楽基金特別支援を受賞した。</p> <p>本拠地、日立システムズホール仙台コンサートホールでの定期演奏会は2016年に300回を数え意欲的な取り組みが高く評価されているほか、2001年から開催されている仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラとして出演し、2006年秋からは毎年「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。</p> <p>2023年に創立50周年を迎え、さらに2024-25シーズンは楽団創立以来、初となる定期演奏会の全公演が完売した。</p>	
	学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none">・令和元年度〈文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業〉全13公演・令和2年度〈文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業〉全11公演・令和3年度〈文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業〉全10公演・令和3年度〈子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業〉全11公演・令和4年度〈文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業〉全6公演・令和4年度〈文化芸術による子供育成総合事業―文化施設等活用事業〉全2公演・令和5年度〈舞台芸術等総合支援事業―学校巡回公演〉全7公演・令和5年度〈文化芸術による子供育成総合事業―文化施設等活用事業〉全3公演・令和6年度〈舞台芸術等総合支援事業―学校巡回公演〉全9公演・令和6年度〈学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業―文化施設等活用事業〉全4公演・令和7年度〈舞台芸術等総合支援事業―学校巡回公演〉全9公演・令和7年度〈学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業―文化施設等活用事業〉全7公演	
	特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度〈文化芸術による子供の育成事業―巡回公演事業〉 福井県・南越特別支援学校・令和元年度〈文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業〉 宮城県・仙台市鶴谷特別支援学校・令和2年度〈子供のための文化芸術体験機会の創出事業〉 宮城県・宮城教育大学特別支援学校・令和2年度〈文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業〉 茨城県・茨城県立結城特別支援学校・令和7年度令和7年度〈舞台芸術等総合支援事業―学校巡回公演〉 東京都・都立羽村特別支援学校	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/vR6PYKnEGBY	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

一般区分・特別エリア区分共通													
No.2(実演芸術)													
別添		あり											
【公演団体名										仙台フィルハーモニー管弦楽団		】	
本公演・ワークショップの内容	対象		小学生(低学年)		○		小学生(中学年)		○				
			小学生(高学年)		○		中学生		○				
	企画名		“杜の都・仙台”からオーケストラがやってきた！ 仙台フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラコンサート										
	企画のねらい		「百聞は一見に如かず」 これは『他人から何度も聞くより、一度でも自分の目で実際に見たほうが確かである』という意味のことわざですが、まさにオーケストラの演奏においても同じであり、一度でも生のオーケストラを聴いたら、その感動たるや計り知れないのではないかと考えています。そして音楽は「一期一会」の時間芸術。いまここにしかない音楽を、そして児童・生徒の皆さんの一生の記憶に残る公演になることを目指していきたいと考えています。 今回のコンサートでは、音楽を鑑賞する楽しさ、そして最後までその音楽が持つ魅力をも十分に楽しめるプログラムを構成しました。オープニングを飾る格林カ「ルスランとリュドミラ」序曲、不朽の名作ベートーヴェン「運命」など音楽の授業において鑑賞・勉強するプログラムのほか、実際にオーケストラの指揮者を体験するコーナー、児童・生徒の皆さんによる合唱とオーケストラとの共演、また仙台フィルが誇るコンサートマスターによるヴァイオリン独奏でお届けするモンティ「チャールダシュ」など、演奏に加えてそれぞれの作品の特徴や作曲家の作品にかける想いをわかりやすく語りかけながら進行していきます。 本物のオーケストラを目の前にして鑑賞することで、児童・生徒の皆さん一人ひとりの想像力や音楽に対する感受性を豊かにし、オーケストラ音楽の魅力をも十分に楽しんでいただくとともに、情操を育むことをねらいとしています。										
	演目概要・演目選択理由		(別添_2をご参照ください)										
	児童・生徒の参加または体験の形態		③ <憧れ！一度はやってみたかった！>【指揮体験】オーケストラの指揮者に挑戦！ 憧れのオーケストラの指揮者にチャレンジしていただくプログラムです。指揮者の仕事とは？そして実際に約60名のプロの演奏家をまとめる指揮の真髄とは？そして指揮のレクチャーを経て、いざ指揮台へ。児童・生徒によるドキドキの指揮体験のあとは、スペシャル・ゲスト・コンダクターとして、学校の先生がサプライズで登場し、オーケストラの指揮をしていただきます。 ⑥ <合唱×オーケストラ=∞の可能性！>【合唱共演】オーケストラと歌おう！ ⑧ <世界に一つだけの曲をオーケストラと> 開催校 校歌 普段はピアノ伴奏で歌っている合唱曲、そして校歌を、弦・管・打楽器の豊かなサウンドを誇るオーケストラと一緒に歌う共演です。校歌はこの日のために特別に編曲したフル・オーケストラ・バージョンにて演奏します。										
	児童・生徒の参加可能人数		本公演		参加・体験人数目安		～700名程度						
					鑑賞人数目安		～700名程度						
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付		① グリンカ:歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 ② 【楽器紹介】オーケストラの楽器たち ドラムマーチ～スーザ:行進曲「星条旗よ永遠なれ」～オーケストラを支えるスタッフ紹介 ③ 【指揮体験】オーケストラの指揮者に挑戦！ (体験曲目) ビゼー:歌劇「カルメン」より 闘牛士 (一部) ④ モンティ:チャールダシュ (コンサートマスターによるヴァイオリン独奏) ⑤ ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より 第1楽章 ⑥ 【合唱共演】オーケストラと歌おう！ (下記のA～Eの中から1曲選択) A:杉本竜一:ピリープ B:村井邦彦:翼をください C:菅野よう子:花は咲く D:八木澤教司:明日という日が E:佐藤真:大地讃頌 ⑦ 外山雄三:管弦楽のためのラプソディー ⑧ 開催校 校歌 (アンコール/フル・オーケストラ編曲)										
			公演時間		90		分						
出演者		指 揮：坂入 健司郎 司 会：竹平 晃子 管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団 (名簿は別添1参照) 【編成 = 60名】10-8-6-6-4/3-2-2-2/4-3-3-1/Timp,4Per,Hp/											
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名		●指 揮：坂入 健司郎 / Kenshiro SAKAIRI, Conductor 慶應義塾大学経済学部卒業。指揮を三河正典、山本七雄の各氏に、また、指揮講習会等を通じてV.フェドセーエフ、飯塚泰次郎、井上道義、井上喜雄、小林研一郎各氏の下で研鑽を積んだ。2008年、東京ユヴェントス・フィルハーモニーを結成。16年には川崎室内管弦楽団の音楽監督に就任。 ●司 会：竹平 晃子 / Akiko TAKEHIRA, Concert Navigator TNCテレビ西日本報道部、NHK横浜放送局を経て、現在はフリーアナウンサーとして幅広く活動中。これまでにFMヨコハマのニュースアナウンサーのほか、神奈川フィル、日本センチュリー、大阪フィル、宮崎国際音楽祭、など全国各地でコンサートナビゲーターを務める。 ●管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団 / Sendai Philharmonic Orchestra 1973年宮城フィルハーモニー管弦楽団として創立。1989年仙台フィルハーモニー管弦楽団に名称変更。2011年の東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状況となったが、室内楽等で音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し絆を紡いだ。年間100回を超える活動を展開し「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。											

本公演・ワークショップの内容	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 62 名 スタッフ: 13 名 合 計: 75 名		運搬		積載量: 4 t 車 長: 9 m 台 数: 3 台		
	本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度
		到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
		8時30分	8時30分～ (概ね120分程度)		13時30分～ (90分間)	15分	15時00分～ (概ね75分程度)	16時30分
		※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
	本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月	7月		8月		9月	
		0日	0日		0日		0日	
		10月	11月		12月		1月	
		7日	6日		0日		0日	
		※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計		13日	
本公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)								
								
	<div><div><h3>ワークショップ</h3><p>本公演の数か月前に開催します。 仙台フィルのオリジナル教材を使用した 楽器の紹介や、小編成でのコンサート を通して、本公演への期待感を高めます。</p></div><div><h3>本公演</h3><p>約60名のフル・オーケストラ編成で開催します。 体育館のフロアには、ヴァイオリン、チェロ、フルート、 トランペット、ティンパニなど、約20種類に及ぶ楽器 が並び、児童・生徒の皆さんと近い距離で演奏します。 ワークショップで学んだ知識と本公演がリンクすることで、 コンサートをさらに楽しむことができます。</p></div></div>							
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当あり		該当コンテンツ名		プログラム⑥、⑦、⑧	
	該当事項がある場合	権利者名	各作曲者 (JASRACへ利用申請)		許諾確認状況		採択後手続き予定	

別添

なし

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】

ワークショップの
ねらい

ワークショップは、児童・生徒の皆さんが目の前で奏でられる音楽や音楽家と向き合い、数か月後に行われる90分間の本公演を楽しむための土台を作ることをねらいとしています。

下記に記載する楽器紹介やミニ・コンサート、質疑応答を通して、本公演に期待感を持てるような時間になるように取り組んでまいります。また、少人数で訪問することのメリットでもある楽団員との交流のしやすさや距離感の近さを生かし、児童・生徒の皆さんが音楽に興味を持ち、また音楽家に対する夢や希望を持っていただけるような時間になることをねらいとしています。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

本公演で鑑賞される児童・生徒の皆さん(全員)

ワークショップ
実施形態及び内容

<ワークショップ実施形態>

〔開催時間〕各学校の時間割に則り、1時限分を基準とします。
小学校＝45分間、中学校＝50分間

〔派遣人数〕4名(仙台フィル楽団員3名、ピアニスト1名)
〔借用備品〕ピアノ(グランド・アップライトなど、種類は問いません)

<内容>

1) オーケストラで使われる楽器の紹介

- ・オーケストラで使用されている楽器は、大きく分けて4つのグループに分けられることをご紹介します。
(①弦楽器、②木管楽器、③金管楽器、④打楽器)
- ・各グループにどのような特徴があり、また各楽器の発音方法を解説し、楽器の音色を聴いていただきます。
- ・仙台フィルが独自に制作している、オリジナル楽器紹介パンフレットを使用します(非売品)。

2) ミニ・コンサート①(各楽器によるソロ)

- ・上記で紹介した内容を踏まえ、弦楽器、木管、金管、それぞれのソロ曲を1曲ずつ演奏します。

3) 質疑応答・交流コーナー

- ・楽器紹介やミニ・コンサートを通して感じたことや、質問・疑問をお受けしお応えします。
- ・演奏者自身に関する紹介や、楽器との出会い、音楽家になろうと思った動機などをお話することを通して、児童・生徒の皆さんの夢や目標を見つける一助となることも、視野に入れています。

4) ミニ・コンサート②(アンサンブル演奏)

演奏者全員によるアンサンブルの作品を聴いていただきます。
指揮者がいない中で、演奏者同士がどのように音楽を作り上げているのか、表情や息遣いなどを間近で体験していただきます。(希望により児童・生徒、または先生とのサプライズ共演等も可能です)

その他ワークショップ
に関する特記事項等

<体育館での開催の場合> 下記のような配置でワークショップを行います。



※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限	2F以上不可		主幹引き込み電源容量		20	A以上
舞台設置面積	間口	18	m	奥行	10	m
	高さ	-	m			
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応	不可	
搬入間口の広さ	幅	2	m	高さ	2	m
遮光の可否	不要		緞帳の可否		必ず必要	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の可否		要	
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		0 m以内	
搬入車両の種類	大型トラック		台数	3	台	
搬入車両の大きさ	車幅	2.5	m	車長	9	m
備考	弊楽団の楽器専用運搬車(4tワイド車)は「大型貨物自動車」に該当するため、学校敷地近辺の楽器運搬車が通るルート上に「大型貨物自動車等通行止め」の看板がある場合は、管轄する警察署で「通行禁止道路通行許可申請」の提出手続きが必要です。(採択後、当方スタッフにより近隣を調査し、該当する場合はご相談いたします)。					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出可否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	・搬入口の間口をメジャーで測り、①搬入口の全景、②メモリの数値を撮影した写真 ・①学校敷地入口と、②楽器運搬車(4t)体育館に向かうまでのルート、③搬入口の具体的な場所を記載したPDFデータ(Google Mapなどの航空写真に書き込んで下さい)	

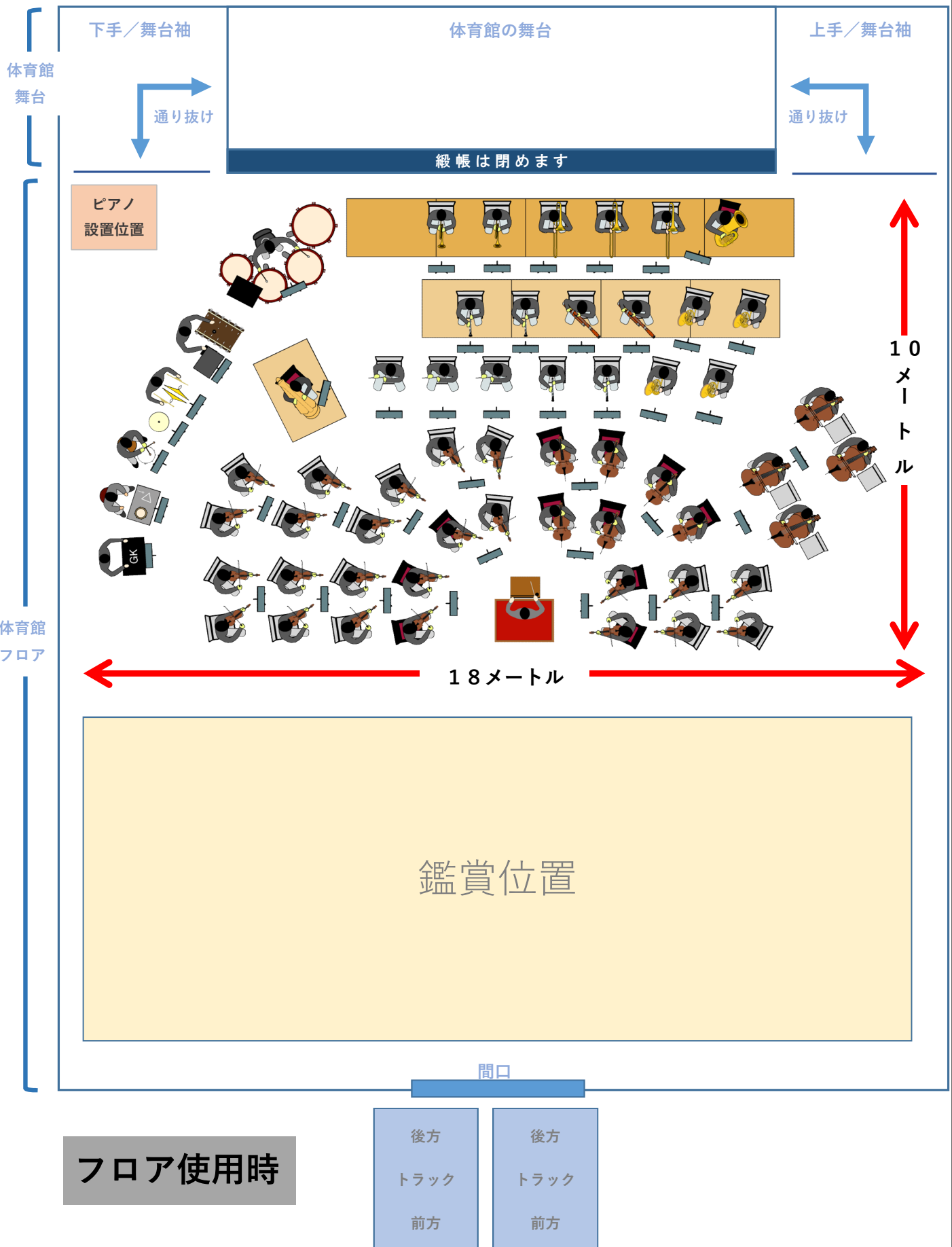
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	鑑賞対象となる児童・生徒全員	学校に一任	学校に一任	パソコン・タブレット端末を使用して、仙台フィルの歴史や概要についての調べ学習(ご無理のない範囲でお願いします)	
	ワークショップ					
	本公演	鑑賞対象となる児童・生徒全員	学校に一任	学校に一任	合唱共演における事前練習	
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	【車両関係】 本公演当日の学校内に滞在中、①大型バス×3台、②楽器運搬車(4t)×3台、③ワゴン車×1台を学校敷地内に留め置きしておきたいと考えておりますが、ご相談は可能でしょうか。	
	2	【控室関係】 本公演当日、控室として①指揮者(個室)、②コンサートマスター(個室)、③司会者(個室)、④楽団員男性(25名程度)、⑤楽団員女性(25名程度)をお借りしたいと考えておりますが、ご相談は可能でしょうか。	
	3		

(任意) 会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

仙台フィルは、この「巡回公演事業」をはじめ、子供たちへ音楽を届けるコンサートや活動をとっても大切にしています。音楽を通じて子供たちの感受性を育み、また豊かな人間性を形成することはとても大事であると考えているからです。また、コンサート以外にも、現在団員数が130名を超える「仙台ジュニアオーケストラ」の講師はすべて仙台フィルの楽団員が務めており、次代を担う子供たちに音楽文化の継承とさらなる発展にたいへん力を入れている団体です。

この度の巡回公演事業では、プロ・オーケストラによる演奏を聴くことで、音楽活動や音楽鑑賞の楽しさを知り、子供たちの文化芸術への関心や音楽への理解を深めていくことを目的として取り組んでまいります。

インターネットが普及している現在、有償・無償問わず聴きたい音楽はインターネットで簡単に聴くことができるようになりました。しかしながら、それは単に電気信号に過ぎず、人がその場で奏でるからこそその魅力(生演奏)には勝てません。

一般に、オーケストラ作品を含むクラシック音楽は「曲が長い」「敷居が高い」「値段も高い」と言われがちですが、本物のオーケストラによる生演奏を通して、演奏者の息遣いや繊細さ、迫力から必ずや感動をお届けできると考えています。

この事業が、音楽への、そしてオーケストラへの「興味」を持ち始めるきっかけとなることを願っています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

日々、コンサートホールで演奏しているオーケストラにとって、体育館で演奏することは残響をはじめとする演奏環境が大きく変化します。そのため、現地の体育館での毎日のリハーサルはしっかりと時間をかけ、子供たちの目線に座って音楽のバランス等の調整を行います。

また、オーケストラの後ろ側に配置される木管楽器と金管楽器は、平台を持ち込み段差をつけることで視覚的な見やすさを向上させ、マイクやスピーカーの音響機材についても持ち込み、児童・生徒の皆さんの理解力の向上に努めます。

鑑賞パンフレットには演奏プログラムはもちろん、上から見たオーケストラの配置図を大きく掲載し、さらにオーケストラを支えるスタッフ(ステージマネージャー、インスペクター、ライブラリアン、公演企画・制作、楽器運搬ドライバー)について掲載することで、多種にわたるスペシャリストがいることでオーケストラが成り立っていることも学習することができます。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

楽団から学校に差し上げるご連絡については、FAXまたはメールでの連絡を中心とし「紙や文字に残す」ことを基本として考えています(もちろん、急ぎで確認したい事項が発生した場合はこの限りではなく、お電話を差し上げることもございます)。

ワークショップの際に行う「本公演打合せ」では、タイムスケジュールや学校側にご準備いただきたい備品等の内容が多岐にわたるため、あらかじめ資料を送付し、御打合せ前にお読みいただいたうえで本公演打合せを迎えるようにしています。なお楽団が作成する資料には、写真や図面などを多く使用し、少しでも先生たちの中で本公演のイメージをしていただきやすい内容となるように制作しています。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

これまでの経験上、本事業を鑑賞していただく多くの児童・生徒の皆さんは、本物のオーケストラを聴いたことが無く、まさにこの公演がオーケストラとの初めての出会いになります。ワークショップを通して本公演への期待感を持たせ、またその期待感が継続するように、音楽の授業で本公演についてお話ししたり、オーケストラの写真を大きく載せた公演ポスターを楽団内で制作し、学校内への掲示を積極的行います。

なお、ワークショップに先立ち、事前学習として楽団の歴史や活動について調べていただくことも大切なことであると考えています。仙台フィル公式サイトをはじめ、これまでお受けした各種メディアからの取材やYouTubeに掲載されている動画など、楽団に関する多くの情報がインターネット上に掲載されています。ICT教育が普及する現在の学校現場において、タブレット・パソコン端末を活用しながら調べ学習をいただくことも、児童・生徒の皆さんの本事業に対する理解度を深めるためには大切なことであると考えています。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

本公演の終演時(アンコールのあと)、引き続きオーケストラや仙台フィルに興味を持ってもらうために、司会者から「楽団には公式サイトがあって、さまざまなコンサート情報が載っていること」「YouTube(動画配信サイト)では、演奏の映像を配信していること」をお伝えしています。各校ご担当の先生に、楽団の制作担当から仙台フィル公式サイトや仙台フィル公式YouTubeチャンネルのURLをお送りさせていただき、児童・生徒の皆さんに対してそのURLをお送りいただくご協力を賜りたいと考えています。

リンク先

No.2

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】



仙台フィルハーモニー管弦楽団

SENDAI PHILHARMONIC ORCHESTRA

常任指揮者…高関 健 コンサートマスター…神谷 未穂
指 揮 者…太田 弦 西本 幸弘
桂冠指揮者…バスカル・ヴェロ ゲストコンサートマスター…小森谷 巧

項目内容

- 1st Violin
- 宮崎 博
 - 伊部 祥子
 - 熊谷 洋子
 - 坂本奈津江
 - 竹内 崇子
 - ヘンリ・タタル
 - 三塚 美秋
 - 柳澤 直美
- 2nd Violin
- 川又明日香
 - 小川有紀子
 - 岡村 映武
 - 小池まどか
 - 佐々木亜紀子
 - 近田 朋之
 - 長谷川 康
 - 村上 達俊
 - 山本 高史
- Viola
- ◎井野邊大輔
 - 青木 恵
 - 寺澤 正晴
 - 百々 暁子
 - 長谷川 基
 - 御供 和江
- Cello
- ◎三宅 進
 - 吉岡 知広
 - 金子 遥亮
 - 北村 健
 - 木村 藍圭
 - 中村 隆人
 - 八島 珠子
- Double Bass
- ◎助川 龍
 - 名和 俊
 - 黒江 浩幸
 - 高橋 慧希
 - 田中洸太郎
- Flute
- 戸田 敦
 - 芦澤 暁男
- Flute & Piccolo
- 宮寄 英美
- Oboe
- 西沢 澄博
 - 高橋 鐘汰
- Oboe & English Horn
- 木立 至
- Clarinet
- ダビット・ヤジンスキー
 - 下路 詞子
 - 鈴木 雄大
- Bassoon
- 西口 真央
 - 入交 滋
 - 水野 一英
- Guest Principal Horn
- ◇山岸 博
- Horn
- 大野 晃平
 - 須田 一之
 - 中野 涼香
 - 中村 隆司
- Trumpet
- 浦田 誠真
 - 戸田 博美
- Trombone
- 紺野 駿人
 - 岩倉宗二郎
- Bass Trombone
- 山田 守
- Tuba
- 山田 悠貴
- Timpani
- 竹内 将也
- Percussion
- 佐々木 祥
 - 前田 秀明

2025/10/03 現在

◎印 ソロ首席 ○印 首席 ◇印 客演首席 □印 副首席

リンク先	No.2	【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】
項目内容	<p>① 格林カ:歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 コンサートの幕開けは、歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲から。ロシアの作曲家で「近代ロシア音楽の父」とも呼ばれていたミハイル・格林カ(1804年～1857年)は、西洋のクラシック音楽に触れる中で、ロシアとしての音楽の独自性(アイデンティティ)を特に強く表現し、真のロシア的音楽を作ったと言われています。明るく快活なテンポで始まり、ロシア的な要素が含まれる、非常に華やかで力強い序曲です。</p> <p>② 【楽器紹介】オーケストラの楽器たち ドラムマーチ～スーザ:行進曲「星条旗よ永遠なれ」 ワークショップで勉強した「オーケストラの4つのグループ」すべての楽器をご紹介します。 その数、なんと約20種類！楽器の成り立ちや仕組み、音の出し方を、本物の楽器を使って、見て、聴いて、体感していただけるコーナーです。そして楽器紹介のあとは、打楽器セクションによるドラムマーチ、そしてスーザ:行進曲「星条旗よ永遠なれ」では、仙台フィルによるスペシャルバージョンでお届け！オーケストラの配置が理解できるように、メロディを演奏しているセクションが立奏します。弦楽器セクションは、子供たちの中に入って間近で演奏します。</p> <p>③ 【指揮体験】オーケストラの指揮者に挑戦！ (体験曲目) ビゼー:歌劇「カルメン」より 闘牛士(一部) 誰もが一度は憧れる「指揮者」。そんなオーケストラの指揮者に挑戦していただくコーナーです。 このコーナーは、同じ曲でも指揮者によって出てくる音楽(テンポや音楽性)が全く異なることを学習することを目的としています。体験は児童・生徒の皆さんに加え、学校の先生にもサプライズ登場していただきます。</p> <p><休憩></p> <p>④ モンティ:チャールダシュ(コンサートマスターによるヴァイオリン独奏) 「チャールダシュ」とは、ハンガリーの民族舞曲の一つです。哀愁と情熱に満ちた音楽に溢れ、そしてめまぐるしく変わるテンポが特徴です。今回は、コンサートマスターによるヴァイオリンの独奏とオーケストラの共演でお楽しみいただきます。</p> <p>⑤ ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より 第1楽章 教科書に必ず登場する作曲家、ベートーヴェン。彼は生涯に9つの交響曲を作曲しました。その中でも交響曲第5番「運命」は、誰もが一度は耳にしたことのある「ジャジャジャジャー」というリズムが有名です。これは「運命の動機(モティーフ)」と呼ばれており、第1楽章はこのリズムが200回以上登場します。</p> <p>⑥ 【合唱共演】オーケストラと歌おう！(下記のA～Eの中から1曲選択) A:杉本竜一:ピリブ B:村井邦彦:翼をください C:菅野よう子:花は咲く D:八木澤教司:明日という日が E:佐藤真:大地讃頌 全校生徒の皆さんとの共演として、合唱プログラムをご用意しました。AからEの中から1曲選び、オーケストラを伴奏にして一緒に歌っていただきます。いつもはピアノで歌っている合唱曲も、フル・オーケストラの豊かなサウンドを伴奏にして歌えば、大きな感動を体験することができます。</p> <p>⑦ 外山雄三:管弦楽のためのラプソディー 童歌「あんたがたどこさ」に始まり、有名な日本の伝統的なメロディ「ソーラン節」「炭坑節」「串本節」「信濃追分」「八木節」が次々に登場します。特に打楽器は、西洋の楽器に加えて、和製の打楽器として拍子木、キン、団扇太鼓、締め太鼓、そしてチャンチキまでも登場！西洋楽器が奏でる和のメロディを聴くことにより、さらにオーケストラを身近に感じるができるでしょう。</p> <p>⑧ 開催校 校歌(アンコール/フル・オーケストラ編曲) 世界に一つだけの「校歌」を、フル・オーケストラ版に特別に編曲します。コンサートの最後に、児童・生徒の皆さんの合唱と校歌を共演します。</p>	